

製品名: BMPR2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80963**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	115kDa

抗原情報

遺伝子名	BMPR2
別名	BMR2; PPH1; BMPR3; BRK-3; T-ALK; BMPR-II; FLJ41585; FLJ76945; BMPR2
遺伝子 ID	659.0
SwissProt ID	Q13873
免疫原	大腸菌で発現したヒト BMPR2 の精製された組み換え断片。

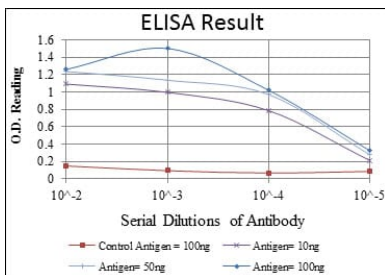
背景

この遺伝子は、膜貫通型セリン / スレオニンキナーゼの骨形成タンパク質 (BMP) 受容体ファミリーのメンバーをコードしています。この受容体のリガンドは、TGF- β スーパーファミリーに属する BMP です。BMP は軟骨内骨形成および胚発生に関与しています。

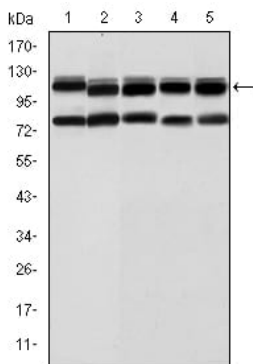
す。これらのタンパク質は、2種類の異なるセリン（スレオニン）キナーゼ受容体（分子量約 50~55 kD の I 型受容体と約 70~80 kD の II 型受容体）のヘテロ多量体複合体を形成することでシグナルを伝達します。II 型受容体は I 型受容体が存在しない場合でもリガンドに結合しますが、シグナル伝達には対応する I 型受容体が必要です。一方、I 型受容体はリガンド結合に対応する II 型受容体が必要です。この遺伝子の変異は、家族性およびフェンフルラミン関連の原発性肺高血圧症、および肺静脈閉塞症と関連付けられています。（RefSeq 提供）

研究分野

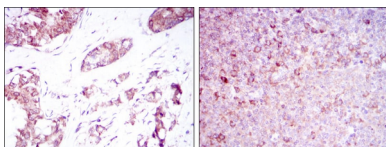
画像データ



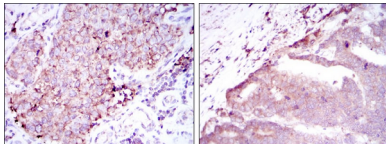
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



Hela (1)、A431 (2)、NIH/3T3 (3)、Cos7 (4)、PC-12 (5) 細胞溶解物に対する BMPR2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



BMPR2 マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ヒト乳がん組織 (左) と扁桃腺組織 (右) の免疫組織化学分析。



BMPR2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト腎臓癌組織 (左) と胃癌組織 (右) の免疫組織化学分析。